

近年、激甚化・頻発化する大規模自然災害や、切迫する南海トラフ巨大地震に備えるため、流域における水管理を総合的かつ計画的に推進する「とくしま流域水管理計画」をマスタープランとし、過去の浸水被害を踏まえた対策※1を行い、被害の軽減を図る。なお、打樋川水系については年超過確率1/10の規模の洪水※2を安全に流す取り組みを推進する。



※1具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある
 ※2毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)程度である洪水

○ 打樋川水系では、上下流、本支川の流域全体を俯瞰し、県・市・地域住民等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 危機管理型ハード対策をはじめ、都市下水路の整備などにより浸水被害の低減を図る。また、水害リスク情報空白域解消に向けた取り組みを実施し、住民の確実な避難を促す。

【中長期】 引き続き、大規模自然災害に対する防災・減災対策を推進する。

取組内容		実施主体	対象水系	短期	中長期
氾濫をできるだけ防く・減らすための対策	危機管理型ハード対策	徳島県	打樋川水系	粘り強い堤防の整備を実施	
	排水施設の無動力化	徳島県	打樋川水系	既存排水施設の無動力化を実施	
	排水施設の整備	阿南市	打樋川水系	西分排水機場の整備を推進	
	局部改良、維持修繕、河道掘削、樹木伐採	徳島県・阿南市	打樋川水系	局所的な改良や河道掘削、樹木伐採、及び河川施設の維持修繕を継続して実施	
	都市下水路の整備	阿南市	打樋川水系	戎山・長浜都市下水路の整備を推進	
	排水施設、雨水排水路、都市下水路、用排水路等の維持修繕、老朽化対策	徳島県・阿南市	打樋川水系	水門・樋門、排水機場、雨水排水路、農業用水路などの維持修繕・老朽化対策を定期的に実施	
	農地保全、森林の整備・保全	地域関係者・徳島県・阿南市	打樋川水系	農地の保全による雨水貯留機能の維持や、森林の有する水源涵養機能や土砂流出防止機能等の適切な発揮にも資するよう、森林の整備・保全を推進	
	水田を活用した雨水貯留	地域関係者・徳島県・阿南市	打樋川水系	水田の雨水貯留機能を活用した、防災・減災の取り組みの検討	
	海岸保全施設の老朽化対策	徳島県	打樋川水系	津波・高潮等への防護機能確保のため、老朽化対策を推進	
被害対象を減少させるための対策	市街化調整区域内の浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化	阿南市	打樋川水系	災害ハザードエリアにおける開発抑制、移転の促進など、安全なまちづくりのための防災・減災対策を推進	
	土地利用規制等	徳島県・阿南市	打樋川水系	洪水等の氾濫域の土地利用について、被害の拡大を防止することを目的とした規制、届出・勧告、誘導等、土地利用に関する制度適用の検討	
	不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説	地域関係者・徳島県・阿南市	打樋川水系	土地購入者等に対し、水害リスク情報の事前説明を不動産事業者と連携して実施	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報空白域の解消 ハザードマップ・水災補償等の周知	徳島県・阿南市	打樋川水系	浸水想定区域図等の作成 水害リスク情報や水災補償などについて住民周知に取り組む	水害リスク情報空白域の解消に向け、更なる取り組みを推進
	子どもたちをはじめとする地域住民への水教育の推進 避難訓練、住民等への防災・減災の普及啓発活動 ファミリータイムライン等の作成の支援 迅速な避難のための避難計画作成の促進	住民・地域関係者・教育関係者・医療関係者・徳島県・阿南市	打樋川水系	要配慮者利用施設における「避難確保計画」や避難行動要支援者の「個別避難計画」など各避難計画策定の支援 避難訓練の実施、「ファミリータイムライン」の作成支援等、住民避難に資する取り組みの推進 イベントや防災出前講座など、水教育を通じて地域の水防力、防災力の向上を図る	
	「すだちくんメール」等による防災・避難情報の発信	徳島県	打樋川水系	「すだちくんメール」の活用等により、防災・避難情報をリアルタイムに発信し、効果的な避難を支援	
	企業における災害時の事業継続計画「企業BCP」策定の促進	地域関係者・徳島県	打樋川水系	南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生に備え、企業の事業継続力及び地域の防災力の向上を図る	
	「建設業BCP」の実行力の向上	地域関係者・徳島県	打樋川水系	災害時の早期復旧にかかせない建設業「建設業BCP」の実行力の向上を図る	
	「港湾BCP」の推進	地域関係者・徳島県	打樋川水系	訓練等を実施し、発災時の救急物資の海上輸送などが継続できるよう、「港湾BCP」の実行力を高め、地域防災力の向上を図る	

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは、今後の事業進捗によって変更となる場合がある